

## 第1号議案

### 令和5年度 事業報告承認の件

#### I 評議員会・理事会・評議員選定委員会開催状況

##### 1 評議員会開催状況

開催年月日	場 所	議 決 事 項
令和5年 6月28日	ひょうご女性 交流館501号室	1 令和4年度決算報告承認の件 2 任期満了に伴う理事の選任の件 3 任期満了に伴う監事の選任の件 4 監事の報酬額決定の件 5 評議員候補者の推薦の件
令和6年 3月11日	ひょうご女性 交流館501号室	1 定款変更の件 2 任期満了に伴う評議員選定委員会委員の選任の件
令和6年 3月29日	— (書面表決)	1 補欠役員の選任の件 2 監事の報酬額決定の件 3 評議員候補者の推薦の件

##### 2 理事会開催状況

開催年月日	場 所	議 決 事 項
令和5年 4月1日	— (書面表決)	1 業務執行理事の選定の件 2 理事長及び業務執行理事の報酬額決定の件 3 業務執行理事の業務分担の件 4 事務局長の選任の件
令和5年 6月9日	いなみ野学園 地活教室3	1 令和4年度事業報告承認の件 2 令和4年度決算報告承認の件 3 任期満了に伴う評議員選定委員会委員改選の件 4 評議員候補者の推薦の件 5 評議員会招集の件
令和5年 6月28日	— (書面表決)	1 理事長の選定の件 2 業務執行理事の選定の件 3 理事長及び業務執行理事の報酬額決定の件 4 業務執行理事の業務分担の件 5 事務局長の選任の件
令和5年 9月15日	いなみ野学園 会議室	1 兵庫県立文化会館等指定管理者の応募の件
令和6年 2月14日	— (書面表決)	1 評議員会招集の件
令和6年 3月6日	いなみ野学園 中教室	1 令和6年度事業計画承認の件 2 令和6年度収支予算承認の件 3 令和5年度収支補正予算承認の件 4 組織規程の一部改正の件 5 会計処理規程の一部改正の件 6 評議員会招集の件
令和6年 3月22日	— (書面表決)	1 評議員会の議案の件

##### 3 評議員選定委員会開催状況

開催年月日	場 所	議 決 事 項
令和5年 7月19日	— (書面表決)	1 任期満了に伴う評議員改選の件

## II 事業実施報告

新型コロナウイルス感染が国内で確認されてから4年が経過しました。令和5年5月8日には感染症法上の位置づけが5類に移行されるなど、ウイズコロナに向けた適切な事業展開が求められました。協会事業も徐々に回復し、令和5年度は4年ぶりにほぼ通常どおり実施することができました。

また、令和4年3月に「県政改革方針」が策定され、「指定管理施設」が令和5年度に公募の方向であることなど協会の事業展開にかかる県政の方針についても大きな変化がありました。

このような中、令和5年度は、県民の生涯にわたる学びを応援するという生きがい創造協会の原点に基づき、多様なニーズに応じた魅力ある学習環境づくりを推進していくとともに、協会経営の健全性の確保に向けた取り組みを強化し、加えて令和6年度以降の指定管理施設の新体制に向けた移行準備を行いました。

### 1 生涯活躍を目指す学びの支援

#### (1) 高齢者大学の魅力の向上

いなみ野学園において講座の動画配信を実施し、在宅学習や反復学習による「学びの継続」に努めるとともに、民間企業等の技術者、研究者等を講師に招聘した新たな講座を開設するなど学園の魅力を高めました。

#### (2) 多彩な生涯学習機会の提供

話し方や剪定など、くらしに役だつさまざまなテーマの短期集中講座を実施し、多様な学習機会を提供しました。

情報提供や相談を行う「生涯学習情報コーナー」を神戸ハーバーランド庁舎から協会本部に移転し、引き続き、ひょうごインターキャンパスや生涯学習リーダーバンクの運営等を通じて、各種の生涯学習情報提供等を行いました。

また、公民館関係者が一堂に会する「第45回全国公民館研究集会兵庫大会」を全国公民館連合会と連携して実施しました。

### 2 経営改善の推進

コロナ禍での入学者数の落ち込みや足元の物価高騰で協会の経営状況は依然として非常に厳しい状況にありました。

実習費等の値上げや寄付募集の推進、事業の効率化や見直しを行い、学生増につながる学園の魅力向上に努めるとともに、経営の健全化に向けた取り組みを進めてまいりました。

### 3 指定管理施設の移行準備

文化会館等施設について、指定管理期間が令和5年度末に満了となり、新指定管理者への円滑な移行を図るため、県と共に修繕工事などの整備を進めました。

# 令和5年度事業体系表

地域社会を支える学びの支援

## 1 生涯学習・地域づくり活動の総合的推進・支援

### (1)生涯学習に係る情報提供

- ひょうごインターキャンパス（兵庫県生涯学習の広場）の運営（協会本部）
- 生涯学習リーダーバンクの運営（協会本部）
- 生涯学習推進アドバイザー派遣事業の実施（協会本部）
- 生涯学習情報提供・相談の実施（協会本部）
- 生涯学習情報の収集と提供（嬉野台、但馬、西播磨、淡路）

### (2)あらゆる世代の生涯学習を支援する公開講座等の実施

- 生涯学習公開講座（協会本部、いなみ野、阪神、嬉野台、但馬、西播磨）
- いなみ野学園多世代交流事業の実施（いなみ野）
- いなみ野学園短期集中講座の実施（協会本部）

### (3)生活創造活動グループに対する支援

- 生活創造情報プラザ（嬉野台、但馬、西播磨、淡路）

### (4)生涯学習関係機関職員研修の実施

- 社会教育関係職員等研修（協会本部）

## 2 地域社会を支える高齢者の学びの支援

### (1)高齢者大学事業の充実

いなみ野学園	4年制大学講座、陶芸学科専修コース、大学院講座、研究生制度、聴講生制度、地域活動支援センター、学園運営等各種サポーター
阪神 シニアカレッジ	4年制大学講座、阪神ひと・まち創造講座、聴講生制度、地域活動支援センター
うれしの学園生涯大学（嬉野台）	4年制大学講座、大学院講座
みてやま学園（但馬文教府）	4年制大学講座、大学院講座
ゆうゆう学園（西播磨）	4年制大学講座、大学院講座
いざなぎ学園（淡路）	4年制大学講座、大学院講座

### (2)高齢者放送大学事業の実施

- 高齢者放送大学（ひょうごラジオカレッジ）
- ラジオカレッジサポーター

### (3)高齢者の交流・健康づくり活動の広域的展開・場の提供

- シニアニュースポーツ（協会本部）、全国健康福祉祭（ねんりんピック）

## 3 未来を担う青少年の育成

### (1)生きる力を育む体験教育の実施

嬉野台生涯教育センター	ひょうご冒険教育（HAP）、セミナー・講習会、野外活動指導者養成講座、全県野外活動フォーラム、うれしの台ユースセミナー、うれしの台親子DAYキャンプ、学校の学習活動
但馬文教府	小・中学生作文・詩集「但馬の子ども」発行、科学する但馬の子ども作品展・研究集録発行、親子フェスタIN但馬文教府、学校の学習活動
西播磨文化会館	にしはりまキッズフェスタ、プレーパークの支援、学校の学習活動
淡路文化会館	国生みの島元気っ子フェスティバル、学校の学習活動

### (2)ふるさと意識の醸成

- 小・中学生作文・詩集「但馬の子ども」発行【再掲】（但馬）
- にしはりまキッズフェスタ【再掲】（西播磨）
- 国生みの島元気っ子フェスティバル【再掲】（淡路）

多様な交流・連携による学び・地域づくりの支援

- 4 生涯学習に関わる多様な主体との連携・交流**
- 大学等学校教育機関との連携 (協会本部、いなみ野、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路)
  - 公民館等市町関係機関との連携 (協会本部)
  - 博物館等社会教育機関との連携 (協会本部、いなみ野、阪神、嬉野台、但馬、淡路)
  - 自治会等各種地域団体との連携 (いなみ野、西播磨)
  - 高齢者大学等関係組織との連携 (いなみ野、放送大、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路)
  - 広域ネットワーク組織との連携 (協会本部、いなみ野、放送大、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路)
  - NPO、社会福祉協議会等地域活動団体との連携 (いなみ野、阪神)
  - 各施設の魅力を活かした地域住民との交流 (いなみ野、嬉野台、但馬、西播磨、淡路)

- 5 地域団体等の参画と協働による地域文化活動の支援**
- (1) 地域文化事業の実施
- |             |   |
|-------------|---|
| 嬉野台生涯教育センター | うれしの春のフェスティバル、うれしのまるごとギャラリー、東はりま大茶会、東はりま芸能祭、東はりまコーラス大会、「東はりま子午線」の発行、東播磨の地域文化を考える会   |
| 但馬文教府       | 但馬美術展、ふるさとの心をうたう但馬合唱祭、但馬歴史講演会、但馬文学のつどい、「たじま作品集」の発行、但馬ふるさと芸術文化祭                      |
| 西播磨文化会館     | 播州段文音頭大会、播州段文音頭教室、ふるさとの心をうたう西播磨音楽祭、西播磨ふるさと写真展、西播磨短歌祭、西播磨俳句祭、西播磨ふるさと文化祭、播磨「歴史・地域学」講座 |
| 淡路文化会館      | 淡路人形浄瑠璃後継者交流発表会、淡路島ココだけの文化祭、淡路日本画セミナー、淡路洋画セミナー、全淡短歌祭、淡路島俳句大会、淡路文学作品展、淡路ふるさと文化交流事業   |
- (2) 文化会館等の特性を活かした利用促進
- 地域文化活動の支援 (嬉野台、但馬、西播磨、淡路)

- 6 文化・芸術活動の拠点としての機能強化**
- (1) 但馬文教府創立60周年記念事業の実施【新規】

経営の健全性・透明性の確保等

- 7 経営の健全性・透明性の確保**
- (1) 安定した収入の確保
- 高齢者大学等入学者の確保、適正な受益者負担の徴収、寄附募集の推進、オープンキャンパス (いなみ野、阪神、嬉野台、但馬、西播磨)
  - 高齢者手づくりの店、高齢者園芸センター、高齢者陶芸の村
- (2) 施設の改修による利便性等の向上
- 利用者増を図るための計画的な施設改修
- (3) 職員の適正配置等による運営体制の整備
- 施設の効率的運営の推進 (協会本部、いなみ野、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路)
- (4) 協会事業の透明性確保・広報の充実
- 協会事業の見える化 (協会本部)
  - マスメディアとの連携 (協会本部、いなみ野)
  - いなみ野学園情報番組の制作・発信 (協会本部、いなみ野)
  - ホームページの運営 (いなみ野、放送大、阪神、嬉野台、但馬、西播磨、淡路)
- (5) 経営改善の推進

- 8 ウイズコロナ期に向けた適切な対応**

※ 実施機関 (協会本部) 兵庫県生きがい創造協会 総務部・生涯学習部 (いなみ野) いなみ野学園  
 (放送大) 高齢者放送大学 (阪神) 阪神シニアカレッジ (嬉野台) 嬉野台生涯教育センター  
 (但馬) 但馬文教府 (西播磨) 西播磨文化会館 (淡路) 淡路文化会館

### Ⅲ 事業実施状況

※中項目または事業名の後の（ ）は実施機関

#### 1 生涯学習・地域づくり活動の総合的推進・支援

##### (1) 生涯学習に係る情報提供

###### ①ひょうごインターキャンパス（兵庫県生涯学習の広場）の運営（協会本部）

教育機関・民間企業・行政等様々な生涯学習機関と連携し、多彩で幅広い生涯学習情報を提供するウェブサイト「ひょうごインターキャンパス」を運営しました。

参画機関数	473	
アクセス数	156 千件	月平均 13 千件

###### ②生涯学習リーダーバンクの運営（協会本部）

生涯学習で得た知識・技能を生かし、ボランティア指導者として学習グループ等の活動支援をしようとするいなみ野学園研究生などの新たな登録を促進するとともに、その利用促進を図り、学びの社会還元を推進しました。

バンク登録人数：196 名

###### ③生涯学習推進アドバイザー派遣事業の実施（協会本部）

市町や生涯学習関係機関が抱える課題の解決を支援する生涯学習推進アドバイザー派遣事業を実施しました。

派遣件数：16 件

###### ④生涯学習情報提供・相談の実施（協会本部）

講座、資格、施設、イベント等に関する各種の生涯学習情報を提供するとともに、生涯学習に関する相談に応えました。

相談件数：34 件

###### ⑤生涯学習情報の収集と提供（嬉野台、但馬、西播磨、淡路）

・県民の生涯学習を支えるため、生活創造情報プラザにおいて、市町等が発行するイベント等情報刊行物をはじめとした生涯学習に関する情報を収集し、提供しました。

・但馬文庫

但馬文教府が所蔵する図書、とりわけ但馬に関する多くの文献を多く収集しており、広く一般の閲覧に供しました。

・西播磨文化会館情報交流サロン

山城などの地域の歴史・文化に関する図書を収集し、広く一般の閲覧に供しました。

・淡路文化会館ライブラリー

淡路地域に関する図書、資料、視聴覚資料等を収集し、広く一般の閲覧に供しました。

##### (2) あらゆる世代の生涯学習を支援する公開講座の実施

###### ①生涯学習公開講座

現役世代を含むあらゆる世代の生涯学習に対する意識の高揚を図るため、生涯学習公開講座を開催しました。

開催場所 (高齢者大学名)	講座内容	開催日・参加者数
いなみ野学園 (いなみ野学園・ 協会本部)	「いのちを知る～動的平衡の視点から」 講師：青山学院大学教授 福岡伸一	開催日：令和5年12月17日 参加者数：335名
	「人生の黄金期を楽しむ」 講師：作家・ビジネス評論家 楠木 新	開催日：令和5年12月23日 参加者数：41名
阪神健康交流セ ンター (阪神シニアカ レッジ)	「学長文学歴史サロン」 講師：阪神シニアカレッジ学長 田辺真人	開催日：令和5年8月2日・ 20日・27日、 12月24日(全4回) 参加者数：474名
	「クリスマスふれあいコンサート」 NPO法人関西芸術文化支援の森ゆずりは 若手演奏家4名	開催日：令和5年12月22日 参加者数：100名
嬉野台生涯教育 センター (うれしの学園)	「生かされた命に感謝して」 講師：サウンドセラピスト 橋本 恵子	開催日：令和5年4月18日 参加者数：160名
	「徳川家康物語～緒戦の苦労から関が原へ」 講師：講談師 旭堂 南海	開催日：令和5年11月7日 参加者数：200名
但馬文教府 (みてやま学園)	「わらって！ 笑顔で！ いっしょのしょ!! ～障がい者スポーツを通じての〇〇社会へ～」 講師：全国障がい者スポーツ指導者協議会 近畿ブロック会長 宮城 新	開催日：令和5年5月12日 参加者数：132名
	「人生100年時代を、生涯学習・生涯現役で 生き生きと」 講師：世界最高齢プログラマー 若宮 正子	開催日：令和5年7月7日 参加者数：240名
	「兵庫の偉人、齋藤隆夫と島田勲～命をかけ て仕事をするととは～」 講師：伝記作家 横家 伸一	開催日：令和5年8月18日 参加者数：200名
	「笑いで考える生きがい」 講師：落語家 笑福亭 松枝	開催日：令和5年10月20日 参加者数：148名
	「人との絆(たすき)に込めた想い」 講師：オリンピック 小林 祐梨子	開催日：令和5年11月29日 参加者数：202名
	「沖縄の島守 ～最後の官撰沖縄県知事 島田 勲～」 講師：伝記作家 横家 伸一	開催日：令和5年6月16日 参加者数：134名
西播磨文化会館 (ゆうゆう学園)	「明るく楽しく認知症予防」 講師：たつの市民病院 作業療法士 陶山 信吾	開催日：令和5年6月30日 参加者数：145名
	「高齢者の消費者被害防止のために」 講師：ひめじ市民法律事務所 弁護士 平田 元秀	開催日：令和6年1月19日 参加者数：120名
	「勝負師の先の読み方・考え方」 講師：日本将棋連盟 プロ棋士7段 神吉 宏充	開催日：令和6年2月2日 参加者数：126名

② いなみ野学園多世代交流の実施（いなみ野）

いなみ野学園の休園日の学舎を活用し、学園生と地域の多世代住民がともに学び、交流するイベントを実施しました。

○親子陶芸教室

開催日：令和5年7月17日(月)

参加者：加古川市内の小学生と保護者 37組74名

③ いなみ野学園短期集中講座の実施（協会本部）

通年ではなく、短期間の学習講座の開設に対するニーズも踏まえ、平日の午後やいなみ野学園の休園日などの学舎を活用し、家庭生活で役立つ趣味・知識等の分野について、広く県民を対象とした有料制の短期集中講座を実施しました。

講座名	講師	参加者数 (人)
①藤原正美の話し方講座 3回講座 4,500円/人(9月)	ラジオ関西パーソナリティー 藤原正美	19
②くらしに役立つ！算数・数学 4回講座 6,000円/人(10月)	兵庫大学エクステンション・カレッジ講師 菅生安展	26
③剪定講習※ 2日間講座 受講料無料(11月)	元いなみ野学園 園芸学科主任 北井 学 (補助：井上 力)	13
④はじめての園芸 入門ミニ講座 3回講座 4,500円/人(12月)	いなみ野学園 園芸学科 外部講師並びに 職員 計3人	12
⑤ひょうご文学散歩 4回講座 6,000円/人(1月)	兵庫教育大学大学院 元教授 廣岡 徹	17
⑥YouTube 動画配信セミナー 3回講座 4,500円/人(2月)	(株)マウントエッジ代表 山端秀明 元県職員 四海達也	20
計		107

※③は兵庫県シルバー人材センター協会との共催事業として実施

(3) 生活創造活動グループに対する支援

① 生活創造情報プラザ

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動等、成熟社会にふさわしい豊かな生活を創造するための県民による主体的な活動(生活創造活動)の拠点施設として運営しました。

実施機関	内 容	開催日・参加者数
うれしの生活創造プラザ (嬉野台)	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活創造活動の促進 生活創造活動グループの活動を支援し、グループ間の相互交流を推進しました。</li> <li>うれしの生活創造応援隊の育成と支援</li> <li>生活創造しんぶん「ぐぐっと！北播磨」の発行 地域づくりボランティア団体として、くらしに関する情報を収集・発信しました。</li> <li>ギャラリー展の開催 展示コーナーにおいて地域の情報や県民の学習成果の発表の場となるよう各種展示会を開催しました。</li> </ul>	通年 利用者数：9,390名  隊員数：21名 年3回(7月、11月、3月) 各3,000部発行  通年

<p>但馬生活創造情報プラザ (但馬)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活創造活動グループの育成支援 活動場所の提供、印刷機の利用などにより、自主グループの活動を支援しました。</li> <li>・みてやま市 みてやま学園学生や生活創造活動グループ等利用団体の活動を支援し、地域の方々との交流促進を目的とする市を開催し、賑わいを創出しました。</li> </ul>	<p>通年</p> <p>開催日：令和5年7月～12月 (計7回開催)</p>
<p>西播磨生活創造情報プラザ (西播磨)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西播磨生活創造活動グループ交流会 生活創造応援隊を中心に企画運営する「西播磨生活創造活動グループ交流会」において、生活創造活動グループの活動の相互交流及び情報交換の場を提供。午前・午後の2部制で実施しました(ホームページで閲覧可)。</li> <li>・西播磨生活創造しんぶん「ネットめばえ」の発行 生活創造応援隊員が地域で活躍されている方々や地域の話題等を「ネットめばえ」で情報を提供し、地域の輪をひろげるとともに、企業協賛広告を募集し、財源の確保も行いました。</li> <li>・生活創造活動グループの育成支援 活動場所の提供、印刷機の利用などにより、自主グループの活動を支援しました。</li> <li>・生活創造活動グループと利用ニーズのマッチング 生活創造活動グループの「ボランティア活動情報」をホームページで公開し、利用者のニーズに応じたグループとのマッチングを行いました。</li> <li>・西播磨生活創造活動特技指導者「プチ匠」登録制度 西播磨地域の多彩な知識や技能を持つ人材を「プチ匠」として登録。ホームページで公開することにより地域の要望とマッチングを行い、さまざまな生活創造活動が生き生きと展開できるよう支援しました。</li> </ul>	<p>開催日：令和5年8月5日 場 所：西播磨文化会館 出演団体：20グループ</p> <p>隊員数：16名 年4回(5月・8月・11月・2月) 各3,000部発行</p> <p>通年</p> <p>通年</p> <p>プチ匠登録者数：9名</p>
<p>淡路生活創造情報プラザ (淡路)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活創造活動グループの育成支援 活動場所の提供、印刷機の利用などにより、自主グループの活動を支援しました。</li> <li>・生活創造しんぶん「ポケットあわじ」の発行 地域で行われている生活創造活動や文化的な催しに関する情報を掲載した「生活創造しんぶん」をフルカラーA4判8頁で、毎月発行しました。</li> </ul>	<p>応援隊員数：18名 各3,000部発行</p>



#### (4) 生涯学習関係機関職員研修の実施

地域における学習拠点・活動拠点である公民館等の生涯学習関係機関の職員等を対象とする体系的な研修の機会を提供し、広報をテーマとしたスキルを養成する研修等により、関係職員等の資質向上を図りました。

##### ① 新任社会教育関係職員等研修（協会本部）

新任社会教育関係職員として求められる社会教育に関する基礎的な知識や技能を習得するとともに、市町の枠を超えた人的ネットワークの構築を図るための研修を実施しました。

開催日：令和5年6月1日（木）

場 所：いなみ野学園（大教室）

参加者数：18名

##### ② 社会教育関係職員等スキルアップ研修（協会本部）

社会教育で行う事業の企画・運営の基本スキルのうち「広報」をテーマに、広報の基本、チラシ等の作成、動画作成などの研修を行い、事業の推進、改善のための資質・能力の向上を図るための研修を実施しました。

開催日：令和5年7月21日（金）、8月25日（金）

場 所：いなみ野学園（中教室）

参加者延数：25名

##### ③ 社会教育・生涯学習主管課長及び社会教育施設長等研修（協会本部）

社会教育主管課長や公民館長を対象に、国・県の施策等社会教育・生涯学習の動向を学ぶとともに研究協議を行い、管理職の立場から事業の計画・運営能力を図るための研修を実施しました。

開催日：令和5年7月28日（金）

場 所：兵庫県いなみ野学園（中教室）

参加者数：14名

## 2 地域社会を支える高齢者の学びの支援

### (1) 高齢者大学事業の充実

- ・幅広い教養の涵養やクラブ活動を通じた仲間づくりなど、引き続き高齢者の生きがいを支援するとともに、学習成果を地域社会で生かす取組みを強化するなど、高齢者大学事業の充実を図りました。
- ・いなみ野学園、阪神シニアカレッジ及び各地域高齢者大学は、立地する地域の特色、施設の状況、学生の学習ニーズ等を踏まえ、それぞれの個性をより生かした先進的な講座運営等を目指しました。
- ・ICTを活用し、いなみ野学園では、欠席者や復習用のための録画配信を第1学年において実施するとともに、モニター評価等を踏まえて、講座内容の一層の充実に取り組みました。

## ① いなみ野学園

### ア いなみ野学園大学講座

令和3年4月から入学資格を見直したことにより再入学生が増えていることにも配慮しながら、講義内容や実技実習の充実を図るとともに、陶芸に関する一定の技能を持っておられる方を対象にした陶芸学科専修コースの魅力向上にも努めたところであります。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大期であっても学びの継続を確保するため、ICTの活用にも積極的に取り組むなど、時代に対応した高齢者の学びの場づくりを進めてきました。

(令和5年5月1日現在)

学 科	園芸	健康づくり	文化	陶芸	計	定員
1年	64名	83名	81名	20名	248名	340名
2年	44名	55名	90名	27名	216名	340名
3年	45名	45名	79名	30名	199名	340名
4年	42名	28名	46名	20名	136名	340名
計	195名	211名	296名	97名	799名	1,360名

【参考】令和6年度入学者

1年	49名	69名	72名	16名	206名	340名
----	-----	-----	-----	-----	------	------

※ 陶芸学科専修コース入学者（上記表の外数）

令和4年度33名、令和5年度34名、令和6年度21名

### イ いなみ野学園大学院講座

高齢者大学講座等で学んできた知識や技能を掘り下げ、個人や地域の力を再発見することにより、地域での活動をはじめ、地域づくりに役立つさまざまな活動の手法を学びました。

(令和5年5月1日現在)

学科	地域づくり研究科				計	定員
1年	53名				53名	50名
コース	歴史・文化	健康・福祉	環境・地域	景観園芸	*1年2学期より コース分け	
2年	29名	5名	4名	5名	43名	50名
計	—				96名	

【参考】令和6年度入学者

1年	41名	41名	50名
----	-----	-----	-----

### ウ 研究生制度

高齢者大学の卒業生を活用した生涯学習指導者の養成を図るため、いなみ野学園大学院講座修了者を対象に、生涯学習指導者としての研究及び実践活動を行う研究生制度を運営しました。

R5 新規認定者数：13名 現認定者数：66名

兵庫大学エクステンションカレッジや公民館等での講座において講話等活躍

## エ 聴講生制度

いなみ野学園高齢者大学の講座の一部を公開し、地域づくりについて学ぶきっかけづくりや実践活動の充実につなげました。

さらに「人生 100 年時代」に対して退職後の生き方を考える世代（退職準備世代）に学びの場を提供し、就業・介護等の事情から高齢者大学への入学が困難な層にも学習の機会を提供しました。

令和 3 年度から、現役学生について、従来聴講できなかった他学年の共通講座及び同一学科の専門講座の聴講を可能としました。

・受講料（1 講座あたり） 学生・卒業生 1,300 円、一般 1,500 円

聴講生制度の対象者	学習意欲のある方（年齢制限、居住制限なし）
聴講対象講座	共通講座及び各専門学科講座 ただし、教室の収容能力を超える場合やグループ学習等聴講になじまない講座（講座日程表の講座ごとに聴講の可否を表示）は対象外
受講料 （資料代等の 実費）	いなみ野学園の学生・卒業生 1 講座あたり 1,300 円 いなみ野学園の学生・卒業生以外の者 1 講座あたり 1,500 円
聴講生数	延べ 71 人 収入額 96,700 円

## オ 地域活動支援センター

卒業生等へのボランティア情報提供やボランティアグループの活動等を支援する「地域活動支援センター」を運営し、県高齢者大学卒業生等が行う地域づくり活動を促進するとともに、地域づくり活動グループの活動発表・意識啓発の場として、「地域活動のとびら」（R6.2.16 131 人）を開催しました。

また、卒業生等によるボランティアグループが、福祉施設での演芸披露やふれあい喫茶の運営など、地域活動を展開するとともに、大学院講座を修了した研究生は、特任講師として地域の生涯学習講座、公民館等で講演を行いました。

## カ 学園運営等サポーター

高齢者大学の講座運営等を支援する高齢者大学等運営サポーターを募集、登録し、高齢者大学卒業生等の学習成果を活かしていくとともに、高齢者大学等の活性化を図りました。

〔学園運営サポーター〕

種 別	内 容	活動実績
(講座等)運営サポーター (5名)	大学院や大学の講座における円滑な講座運営のための講座補助業務 〔採用対象〕研究生	延べ 192 日
地域活動支援センター運営サポーター (4名)	学生等による地域活動を企画し、その実践を支援 〔採用対象〕研究生	延べ 14.5 日
学園広報サポーター (8名)	CATV 番組や広報ビデオ、名刺の制作 〔採用対象〕研究生	延べ 100 日
みどりのサポーター (32名)	「いなみ野ガーデニングの日」に学園敷地内の植栽管理活動の実施 〔採用対象〕いなみ野学園卒業生	延べ 4 日

## ② 阪神シニアカレッジ

### ア 阪神シニアカレッジ大学講座

高齢者が生涯学習を通して教養をより高めるとともに、「生涯現役」として創造的に生きるための多彩なプログラムを提供しました。

(令和5年5月1日現在)

学年	園芸	健康	国際理解	計	定員
1年	45名	60名	62名	167名	150名
2年	36名	54名	55名	145名	150名
3年	30名	55名	61名	146名	150名
4年	35名	39名	49名	123名	150名
計	146名	208名	227名	581名	600名

【参考】令和6年度入学者

1年	41名	60名	58名	159名	150名
----	-----	-----	-----	------	------

### イ 阪神ひと・まち創造講座

地域社会等での人間関係・コミュニケーションを改めて学び、あわせて阪神地域の歴史・文化・産業・自然などの魅力や課題を再認識することで、地域への愛着をもったコミュニティ活動等への意欲の醸成とコミュニティの活性化をめざしました。

【阪神ひと・まち創造講座(2年制)】(令和5年5月1日現在)

学年	1年	2年	計
在籍者数	30名	25名	55名

【参考】令和6年度入学者 1年 30名 (各学年定員30名)

### ウ 聴講生制度

大学講座の一部を公開し、カレッジライフの楽しさを体験していただき、学生募集時に募集要項を送付するなど学生の確保につなげました。

聴講生制度の対象者	学習意欲のある方(年齢制限、居住制限なし)	
聴講対象講座	共通講座及び各専門学科講座 ただし、教室の収容能力を超える場合やグループ学習等聴講になじまない講座(講座日程表の講座ごとに聴講の可否を表示)は対象外	
聴講料(資料代等の実費)	阪神シニアカレッジの学生・卒業生	1講座あたり 1,300円
	阪神シニアカレッジの学生・卒業生以外の者	1講座あたり 1,500円
聴講生数	延べ653名 収入額 957,700円	

### エ 地域活動支援センター

卒業生等へのボランティア情報提供やボランティア団体の創設・運営等を支援する「地域活動支援センター」を運営し、県高齢者大学卒業生等が行う地域づくり活動を促進しました。

- ・主な機能 グループ登録やマッチング等の地域での実践活動のきっかけづくり  
地域活動の企画・運営に関する相談、研修会、講演会の開催、広報紙の発行など活動成果の情報発信、登録グループの行う地域活動に対する経費支援

### ③ 嬉野台生涯教育センター

#### ア うれしの学園生涯大学(4年制大学講座)

生涯学習の一環として、高齢者に総合的・体系的な学習機会を提供し、生きがいある充実した生活基盤を確立することを目指すとともに、地域活動の実践者を養成することにより、高齢者の生きがいづくりや社会参加の促進に寄与することを目的として運営しました。

[うれしの学園生涯大学(4年制)]

(令和5年5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	計
在籍者数	24名	37名	12名	28名	101名

(各学年定員60名)

#### イ うれしの学園生涯大学大学院講座

高齢者大学講座での学習を基礎として生かし、地域の課題を専門的・実践的に学び知識や技能のステップアップを図るとともに、スキルアップ自主企画講座の柔軟な設定やそれに伴う4年制大学講座の受講など自由と自主性を尊重したカリキュラムにさらに取り組み、主体的に地域社会に関わる意欲を持った地域づくり活動の担い手づくりに努めました。

[うれしの学園生涯大学大学院(2年制)] (令和5年5月1日現在)

	1年	2年	計
在籍者数	4名	9名	13名

(各学年定員30名)

### ④ 但馬文教府

#### ア みてやま学園(4年制大学講座)

豊かで生きがいのある生活を送るために、自己の健康づくりや地域づくり活動の実践力を培うなどの生涯学習の機会を提供するとともに、ここでの学びを通して長寿社会を担う地域活動の実践者を養成し、生きがいづくりや社会参加の推進に寄与するよう努めました。

[みてやま学園(4年制)]

(令和5年5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	計
在籍者数	43名	20名	32名	27名	122名

(各学年定員60名)

#### イ みてやま学園大学院(地域活動実践講座)

4年制大学講座での学習をもとに、実践的な社会参加活動について学習することにより、地域づくり活動などに主体的に取り組む意欲をさらに醸成するとともに、実践力を習得することで、地域づくり活動等の実践者養成に努めました。

[みてやま学園(2年制)] (令和5年5月1日現在)

	1年	2年	計
在籍者数	20名	21名	41名

(各学年定員30名)

⑤ 西播磨文化会館

ア ゆうゆう学園(4年制大学講座)

生涯学習の一環として、高齢者が豊かな生きがいのある生活を送るために必要な教養と、地域づくり活動に役立つ専門知識や技能を身につけられるよう、総合的・体系的な学習の場を提供し、高齢者の生きがいつくりや地域の活性化に寄与するよう努めました。

[ゆうゆう学園(4年制)] (令和5年5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	計
在籍者数	31名	32名	39名	24名	126名

(各学年定員60名)

イ ゆうゆう学園大学院(地域活動実践講座)

4年制講座等での学習をもとに、実践的な社会参加活動について学習することにより、地域における課題に対して、より主体的、実践的、専門的に取り組むことができる人材を育成し、地域発展に寄与できる実践者としての資質を養うよう努めました。

[ゆうゆう学園大学院(2年制)] (令和5年5月1日現在)

	1年	2年	計
在籍者数	18名	13名	31名

(各学年定員30名)

⑥ 淡路文化会館

ア いざなぎ学園(4年制大学講座)

高齢者に学習年限4年で総合的、体系的な学習の機会を提供し、高齢者が生きがいある充実した生活基盤を確立し、地域の実践者としての素養を身につけることを支援しました。

[いざなぎ学園(4年制)] (令和5年5月1日現在)

	1年	2年	3年	4年	計
在籍者数	22名	35名	35名	25名	117名

(各学年定員60名)

イ いざなぎ学園大学院(地域活動実践講座)

高齢者大学講座を修了した者に、学習年限2年で社会参加活動に係る総合的、体系的かつ実践的な学習機会を提供し、高齢者が地域づくり活動の実践者となることを支援しました。

[いざなぎ学園大学院(2年制)] (令和5年5月1日現在)

	1年	2年	計
在籍者数	12名	5名	17名

(各学年定員30名)

(2) 高齢者放送大学事業の実施

ア 高齢者放送大学(ひょうごラジオカレッジ)

著名な講師陣による質の高いラジオ講座を運営し、幅広く県民に生涯学習の機会を

提供するとともに、中央・地方スクーリング等を通じた学友との交流の場の提供など、ラジオカレッジの魅力を積極的に発信し、受講生の拡大を図りました。

さらに、「仕事をしながら学べる」「自宅に居ながら学べる」特長を活かし、経済や新型コロナウイルスなど多世代が興味・関心を持つ分野を積極的に学習内容に取り入れました。

区 分	本科生	聴講生	生涯聴講生	合計
在籍者数	133名	一名	1,299名	1,432名
定 員	500名	定員なし		—

【参考】令和6年度

在籍者数	170名	一名	1,178名	1,348名
------	------	----	--------	--------

## イ ラジオカレッジサポーター

テキスト等の編集や発送に関すること、行事開催に関することなど、ラジオカレッジ運営を支援する「ラジオカレッジサポーター」を募集・登録し、各種事業にスタッフとして参加していただきました。

- ・対象者 ラジオカレッジ学生
- ・登録者数 14名
- ・活動日数 年間17回 延べ32日

## (3) 高齢者の交流・健康づくり活動の広域的展開・場の提供

ツウゲットボール等のシニアニュースポーツの普及、全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手派遣を行い、高齢者の交流・健康づくり活動を広域的に展開しました。

### ① シニアニュースポーツ

シニアニュースポーツの普及促進を図り、当協会が開発したツウゲットボールの全県大会を開催しました。

#### ○第20回ツウゲットボール全県大会

- ・日 時 令和5年11月13日（月）
- ・開催場所：姫路市立球技スポーツセンター多目的グラウンド
- ・参加者 160名（32チーム）

### ② 全国健康福祉祭（ねんりんピック）

全国の高齢者がスポーツ等を通じて交流を深める全国健康福祉祭（ねんりんピック）に兵庫県選手団を派遣しました。

#### ○ねんりんピック笑顔のえひめ2023

- ・会 期 令和5年10月28日（土）～10月31日（火） 選手団151名

## 3 未来を担う青少年の育成

### (1) 生きる力を育む体験教育の実施

#### ① 嬉野台生涯教育センター

長年にわたり野外活動等による体験教育に取り組んできた嬉野台生涯教育センターを体験学習・野外活動を先導する拠点として位置付け、野外活動学習をはじめとする青少年等に対する体験学習の充実を図り、青少年等の生きる力を育てていきました。

事業名	内 容	実 績 (日時・場所・回数・人数等)
ア ひょうご冒険教育 (HAP)	<p>県下で唯一の施設の体験による冒険活動を通じて、こころ豊かでたくましい人間を育成することを目指し、信頼や協調性を高める「チームづくり」の機会を提供しました。</p> <p>また、参加者の年齢や体験グループの成熟度、活動内容(体験時間等)等に応じた適切なアレンジにより HAP 体験の機会を提供しました。</p> <p>さらに、教育関係者や HAP に携わる指導者等のセミナー及び講習会の拡大を図り、指導者等の資質向上を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動回数：年 9 回程度 (5 月～3 月の各 1～3 日間)</li> <li>・対 象 者：社会教育、野外教育、学校教育、生涯学習、社員教育等の関係者</li> </ul>	<p>開催日：令和 5 年 4 月～令和 6 年 3 月</p> <p>場所：嬉野台生涯教育センター 利用者数：延べ 3,560 名</p> <p>【セミナー・講習会】</p> <p>開催日：令和 5 年 5 月～令和 6 年 2 月 (6 回)</p> <p>場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：延べ 151 人</p>
イ 野外活動指導者養成講座	<p>野外活動の基本的な知識・技能を習得するとともに、指導者として必要な資質を身につける機会を提供し、野外活動指導者としての人材を育成しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動回数：年 2 回</li> <li>・対 象 者：野外活動に関心のある者</li> </ul>	<p>開催日：令和 5 年 7 月 8 日 場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：40 名</p> <p>開催日：令和 5 年 12 月 17 日 場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：18 名</p>
ウ 全県野外活動フォーラム	<p>県内の野外活動関係者が一堂に会し、これからの野外活動指導者に必要な資質や在り方についての研修を行うとともに、ネットワークの構築を図りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動回数：年 1 回 (12 月に 1 日間)</li> </ul>	<p>開催日：令和 5 年 12 月 9 日 場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：34 名</p>
エ うれしの台ユースセミナー	<p>野外等における豊かな体験活動を通じて、子どもたちに感動や達成感、充実感を味わわせるとともに、集団の中での協調性・自律性や規範意識を育成することを通じて「たくましいひょうごっ子」を育成する機会を提供しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開設 夏(7～8月)に 11 コース 冬に 3 コース</li> <li>・対象者 小学生・中学生</li> <li>・定 員 各コース 15～60 名 (全 650 名程度)</li> <li>・受講料 一人 4,500 円～22,000 円程度</li> </ul>	<p>&lt;サマースクール&gt;</p> <p>期間：令和 5 年 7 月 24～26 日 参加者数：157 名</p> <p>期間：令和 5 年 7 月 28～30 日 参加者数：89 名</p> <p>期間：令和 5 年 8 月 3～8 日 参加者数：186 名</p> <p>期間：令和 5 年 8 月 18～20 日 参加者数：66 名</p> <p>&lt;ウィンタースクール&gt;</p> <p>期間：令和 5 年 12 月 25～27 日 参加者数：73 名</p>



<p>オ うれしの台親子DAYキャンプ</p>	<p>子どもたちの自然体験、社会体験、生活体験が減少している現状を踏まえ、日常生活では体験できないような野外等での活動を通じて、親子でのふれあいやコミュニケーションの機会を提供しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動回数：年2回</li> <li>・対象者：小学生、保護者</li> </ul>	<p>開催日：令和5年9月30日 場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：19名</p> <p>開催日：令和5年10月21日 場所：嬉野台生涯教育センター 参加者数：14名</p>
<p>カ 学校の学習活動（自然学校、トライやる・ウィーク）</p>	<p>各学校の児童生徒にとって充実した学習活動となるよう、安全面・衛生面等に配慮したプログラムづくりや集団での学びのサポートをしました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然学校 受入れ校数 14校 受入れ人数 1,278名</li> <li>・トライやる・ウィーク 受入れ校数 2校 受入れ人数 6名</li> <li>・ひょうご冒険教育（HAP） 小学校 15校 1,205名 中学校 22校 1,675名 高等学校 8校 258名 大学 1校 13名</li> </ul>

② 但馬文教府

事業名	内 容	実績（日時・場所・回数・人数等）
<p>ア 小・中学生作文・詩集「但馬の子ども」の発行</p>	<p>小・中学生から作文、詩を募集し、優秀作品を「但馬の子ども」に掲載しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活部門：作文、詩</li> <li>・応募期間：令和5年9月～10月</li> <li>・対象者：但馬地域の小・中学生</li> <li>・但馬の子ども発行：令和6年3月</li> </ul>	<p>応募期間：令和5年9月1日～10月16日 出品数：179点（小学校100点、中学校79点） 〈「但馬の子ども」の発行〉 令和6年3月発行 発行部数：400部</p>
<p>イ 科学する但馬の子ども作品展、研究集録の発行</p>	<p>豊かな但馬の自然環境の中で生活している児童生徒の科学する心の育成を支援するとともに、自然の事物・現象について理解を深め、科学的思考力を養い、自らの力で探求する喜びを体験し、発表することにより子どもの生きる力を育むことを趣旨として作品展を開催し、優秀作品を掲載した研究集録を発行しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品展：令和5年9月</li> <li>・対象者：但馬地域の小・中学生</li> <li>・研究集録の発行：令和6年3月</li> </ul>	<p>〈作品展〉 開催日：令和5年9月15日～9月24日 場所：但馬文教府体育館 作品数：222点（小学校146点、中学校76点） 来場者数：847名 〈研究集録の発行〉 令和6年3月発行 発行部数：350部</p>
<p>ウ 親子フェスタIN但馬文教府</p>	<p>理科教育に関して文教府が培ってきた先導的取組みやネットワークを活かし、幅広い団体、教育機関等との連携により、未来の但馬の担い手や世界レベルで活躍する子どもたちを育成しました。</p> <p>また、幼児や子育てする親等が遊び体験等ができる親子イベントをあわせて実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時 令和5年7月15日</li> <li>・参加者 幼・小学生</li> </ul>	<p>開催日：令和5年7月15日 場 所：但馬文教府 内 容： ・JAXAコズミックカレッジ ・ドローン操作体験 ・プラネタリウム ・ラジコンバギー、プラレール ・貝がら工作教室 ・ミニ水族館 ・金メダルをつくろう 参加者数：500名</p>

### ③ 西播磨文化会館

事業名	内 容	実績（日時・場所・回数・人数等）
ア にしはりまキッズフェスタ	「西播磨ふるさと文化祭」の中のステージ発表の中で、地域において文化活動を行っている子どもたちが、日頃の練習成果を発表する機会を設けました。さらに地域のグループ・団体等と連携して、子どもたちが様々な文化活動を体験しながら、表現力や想像力を養うワークショップを事前予約制で実施しました。	開催日：令和5年11月26日 場 所：西播磨文化会館 参加者：延べ190名
イ プレーパークへの支援	「子どもの遊び場を考える会赤とんぼ」の活動場所として敷地内を活用。プレーパーク赤とんぼの開催を支援するなど、様々なイベントを通して若い世代との交流を図りました。	開催日：原則月1回土曜日 場 所：西播磨文化会館 参加者：延べ1,682名

### ④ 淡路文化会館

事業名	内 容	実績（日時・場所・回数・人数等）
ア 国生みの島元気っ子フェスティバル	淡路地域で活動する個人や団体が、子どもの健全育成を目的とした様々なプログラムを出展し、様々な体験をとおして、こころ豊かで健やかな子どもの育成を図りました。	開催日：令和5年10月1日 場 所：淡路文化会館 参加者数：約2,000名

## (2) ふるさと意識の醸成

地域の特色を生かした事業を展開し、青少年のふるさと意識の醸成を図りました。

- ① 小・中学生作文・詩集「但馬の子ども」の発行（但馬）【再掲】
- ② にしはりまキッズフェスタ（西播磨）【再掲】
- ③ 国生みの島元気っ子フェスティバル（淡路）【再掲】

## 4 生涯学習に関わる多様な主体との連携・交流

生涯学習や地域づくり活動に対する多彩な県民ニーズに応えるため、多様な生涯学習関係機関、活動団体等とのネットワーク化や連携を進めました。

### (1) 大学等学校教育機関との連携

- ① 兵庫大学、兵庫教育大学等との連携（協会本部、いなみ野、淡路）

兵庫大学・兵庫大学短期大学部、兵庫教育大学等との連携により、生涯学習講座の開設、学校施設の相互利用等を実施しました。

・兵庫大学・兵庫大学短期大学部との連携

主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫大学エクステンションカレッジにおいて、いなみ野学園研究生による講義を実施（いなみ野）</li> <li>・講師派遣等本学園講座への協力（いなみ野）</li> <li>・兵庫大学の生涯学習プログラム（エクステンションカレッジ）説明資料の配布（いなみ野）</li> <li>・兵庫大学看護学部学生臨地実習の協力（いなみ野）</li> <li>・ポスター、パンフレット等の掲示（いなみ野）</li> </ul>
------	--

・兵庫教育大学との連携

開催日	令和6年1月9日（火）
対象者	いなみ野学園2年生及び一般
参加者数	230名
開催場所	いなみ野学園 大講堂
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演 演題：比較優位と国際貿易 講師：兵庫教育大学大学院 准教授 渡邊 正</li> </ul>

開催日	令和6年1月24日（水）
対象者	いざなぎ学園生
参加者数	91名
開催場所	淡路文化会館講堂
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演 演題：神話とは何か？ 講師：兵庫教育大学 教授 森 秀樹</li> </ul>

・神戸大学との連携

開催日	令和5年4月19日（水）
対象者	いざなぎ学園生（4年制大学・大学院）
参加者数	112名
開催場所	淡路文化会館 講堂
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演 演題：持続可能な社会づくりにおけるエルダーの役割 講師：神戸大学大学院 教授 松岡 広路</li> </ul>

② 関西労災看護専門学校との連携（阪神）

健康学科の講座の中で関西労災看護専門学校生との交流を実施しました。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座参加 令和5年11月15日 健康学科フィールドワーク（2年生） 参加看護学生 39名</li> </ul>
---

③ 兵庫教育大学との連携による生涯学習指導者育成研修（嬉野台）

青少年の体験活動や野外活動に関する基本的な理論と実技を修得する教育実習（フレンドシップ実習：兵庫教育大学における科目）を実施しました。

（教育実習生を「うれしの台ユースセミナー」におけるリーダーとしました。）

・対象者 兵庫教育大学教育実習生（2回生と大学院生の一部）

主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前研修会 実施日：6月30日～7月1日</li> <li>・実技実習（うれしの台ユースセミナー） サマースクール 実施日：7月23～26日、7月27～30日、8月2～8日、8月17～20日</li> <li>ウィンタースクール 実施日：12月17日、12月24～27日</li> </ul>
------	--

④ 地域の学校教育機関との連携（嬉野台）

うれしの学園生涯大学の講座の一環として県立社高等学校、市立社中学校、米田小学校及び米田こども園と連携した世代間交流事業を実施し、多世代交流の促進を図りました。

主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市立米田小児童、米田こども園児との世代間交流田植え【4年制大学講座1年】 実施日：6月7日</li> <li>・県立社高等学校生徒との世代間交流料理講習会【4年制大学講座2年】 実施日：6月22日</li> <li>・市立米田小児童、米田こども園児との世代間交流稲刈り【4年制大学講座4年】 実施日：10月18日</li> <li>・市立社中学校生徒との世代間交流弁論大会【大学院講座1・2年】 実施日：11月3日</li> </ul>
------	--

⑤ 豊岡短期大学との連携（但馬）

豊岡短期大学との連携協定に基づき、講座開設の実施を通して一層の強化を図るとともに更なる交流を深めました。

実施日：基礎講座 5月23日 「社会福祉に関すること」

6月6日 「子育て（支援）に関すること」

実践講座 11月12日 豊岡短大学園祭で模擬店を出店

⑥ 県立日高高等学校との連携（但馬）

日高高校との実習委託契約に基づき、看護科1年生と大学院1年生が触れ合う機会をつくり、相互にコミュニケーション能力の向上と交流活動を3回実施しました。

実施日：6月6日、10月3日、11月21日

⑦ 県立龍野北高等学校との連携（西播磨）

平成23年からの県立龍野北高等学校との連携協定に基づき、互いの持つ資源の有効活用を通じて、高校生と高齢者大学生との意見交換会や看護・介護体験講座、高校生による森づくりなど様々な連携事業を実施しました。

また、ゆうゆう学園生がSP（模擬患者）となり、高校生が継続的な看護ケアを行う看護科実習ボランティアに取り組みました。

主な内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生とゆうゆう学園生との意見交換会の開催 実施日：令和5年7月14日</li> <li>・介護体験講座の実施（ゆうゆう学園生が高校生と共に実習） 実施日：令和5年9月15日</li> <li>・看護実習の実施（ゆうゆう学園生が模擬患者となり高校生と共に実習） 実施日：令和6年1月11日</li> <li>・ゆうゆう学園講座に高校生が参加 テーマ：「防災避難訓練・防災講和」 「100万匹の害虫を飼育する仕事の話」 「オオサンショウウオの生態と守る会の活動」 ほか</li> <li>・高校生（環境建設工学科）に校外学習の機会を提供（ゆうゆうの森づくり） 西播磨文化会館山林地に、これまで施工した庭園から高台に上がる階段「青龍」を施工</li> </ul>
------	---

⑧ 公益財団法人兵庫県青少年本部山の学校との連携（協会本部）

山の学校生徒による施設内の倒伐木のほか、交流事業に取り組みました。

(2) 公民館等市町関係機関との連携（協会本部）

公民館が主催する生涯学習講座等の講師の紹介、生涯学習推進アドバイザーやいなみ野学園研究生の派遣などにより、市町の生涯学習事業を支援しました。

- ・生涯学習推進アドバイザーの派遣 16件（再掲）

(3) 博物館等社会教育機関との連携（協会本部、いなみ野、阪神、嬉野台、但馬、淡路）

県立人と自然の博物館、県立美術館、県立歴史博物館、兵庫陶芸美術館及び県立考古博物館との連携により、高齢者大学への講師派遣、各施設の実施事業への積極的な参加等を実施しました。

(4) 自治会等各種地域団体との連携

地域学校協働本部が実施する地域学校協働活動（見守り等学校支援活動、放課後子ども教室等）への高齢者大学学生、卒業生等の参加を促進しました。

① プレーパークへの支援（西播磨）【再掲】

(5) 高齢者大学等関係組織との連携

① 同窓研修会との連携（いなみ野）

同窓研修会を高齢者大学卒業生の生涯学習機関と位置づけ、講師としての研究生等の紹介を通じて研修活動の充実に協力しました。

② ラジオカレッジ友の会（放送大）

高齢者放送大学の「ラジカレ応援団」ともいえる友の会の活性化を図るため、友の会の組織率向上や広報誌発行の継続、運営などに関する課題を代表者会議の中で検討しました。また、地方スクーリングの機会を通じて、各友の会の会員と職員との意見交換会の実施を働きかけるなど、支援協力を依頼しました。

- ③ 阪神シニアカレッジ同窓会との連携（阪神）  
同窓会の自主的な活動を支援するほか、同窓会への加入促進・カレッジ学生募集に関する相互協力や、同窓会の自主事業「マイスター講座」で講演する講師の紹介など、相互に連携しながら事業を推進しました。
- ④ うれしの友の会との連携（嬉野台）  
センターに集うすべての人々をつなぐ「うれしの友の会」と連携して、年間約 100 回を数える様々な楽しい体験や交流を通して、参加者相互の心の交流を図り、こころ豊かな場を創造しました。
- ⑤ みてやま学園学生自治会・同窓会との連携（但馬）  
みてやま学園学生自治会及び同窓会との連携により地域実践活動講座を実施し、清掃活動など文教府周辺道路等の環境美化活動に取り組みました。
- ⑥ 但馬高齢者学習研究協議会との連携（但馬）  
但馬地域の市町が運営する生涯学習機関との連携を進め、高齢者の生涯学習の普及と交流を図りました  
構成員会議：3 回開催  
「学ぶ高齢者のつどい作品展」の開催  
期間：10 月 16 日～18 日  
場所：但馬文教府  
作品数：132 点
- ⑦ ゆうゆう学園学生自治会・同窓会との連携（西播磨）  
学生自治会・同窓会が連携し、研修会やクラブ活動への参加など様々な交流をしながら、地域におけるボランティア活動等の地域づくり活動の促進へつなげました。
- ⑧ いざなぎ学園学生自治会との連携（淡路）  
いざなぎ学園学生自治会が行う施設内、施設周辺等の清掃その他の環境美化活動を支援し、自治会活動の活性化といざなぎ学園の学習環境の向上を図りました。
- (6) 広域ネットワーク組織との連携  
兵庫県公民館連合会等の県域ネットワーク組織との連携を強化するとともに全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会等の全国ネットワーク組織や関西圏・首都圏シニア大学校等の県域を越えたネットワーク組織との連携を強化しました。
- ① 兵庫県公民館連合会との連携（協会本部）  
兵庫県公民館連合会と共催で、第 45 回全国公民館研究集会兵庫大会等を開催するとともに、社会教育関係職員等研修を実施し、兵庫県公民館連合会との連携を強化しました。
- 第 45 全国公民館研究集会兵庫大会・第 70 回近畿公民館大会兵庫大会・第 66 回兵庫県公民館大会（年 1 回）

- ・開催日：令和5年11月24日（金）
- ・場 所：兵庫県いなみ野学園 大講堂
- ・参加者：571名（会場：358名、オンライン等：213名）
- ・内 容：午前：優良職員表彰（全国・近畿・兵庫）、文部科学省施策説明  
午後：基調講演  
（講師：平田オリザ 芸術文化観光専門職大学学長）  
パネルディスカッション  
（全体総括：牧野篤 東京大学大学院教育研究科教授）

○社会教育関係職員等研修（年4回）

- ・新任職員対象の研修（6月1日）、課長・施設長対象の研修（7月28日）とスキルアップ研修（7月21日、8月25日）を実施し、社会教育・生涯学習の人材育成に取り組みました。

② 全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会との連携（協会本部）

高齢者の生きがいづくり・健康づくりを推進し、地域の支え手となる高齢者を育む活動に取り組む全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会の会員として会議等に参加し、推進機構相互の情報交換や事業推進の協議を行いました。

○総会（年2回）

- ・開催日：令和5年7月4日（火）、場 所：日本青年館ホテル
- ・開催日：令和6年2月28日（水）、場 所：日本青年館ホテル

○近畿ブロック会議（年1回）

- ・開催日：令和6年1月25日（木）（担当：大阪府）
- ・場 所：グランフロント大阪

③ 関西圏・首都圏シニア大学校交流事業（協会本部、いなみ野）

関西圏・首都圏の高齢者大学の運営者・学生・卒業生等に呼びかけ、互いに知識を深め、交流の輪を広げることを目的として実施している当該事業が大阪府で開催され、関係者が参加しました。

- ・開催時期：令和6年1月10日（水）13：00～14：30
- ・会 場：大阪市教育会館（大阪府高齢者大学校）
- ・内 容：高齢者大学校関係者がつどい現状報告、課題協議
- ・参集人員：16人

④ 県内文化施設との連携（あいカード）（全施設）

県内の美術館、博物館等の文化施設における県高齢者大学等学生を対象とする割引利用制度（あいカードの提示による割引）により、学生の学習ニーズに対応するとともに、文化施設の利用促進を図りました。

(7) NPO、社会福祉協議会等地域活動団体との連携（いなみ野、阪神）

ボランティア活動の場の提供、実践体験講座の支援等に取り組むボランティアセンターを運営する市町社会福祉協議会、NPOを育成する中間支援団体等との連携を進めていきました。

(8) 各施設の魅力を活かした地域住民との交流

① 施設の魅力を活かした地域住民との交流（いなみ野）

- ・「親子陶芸教室」の実施【再掲】

5 地域団体等の参画と協働による地域文化活動の支援

文化会館等で展開してきた地域文化活動の振興、地域文化活動団体への支援を更に強化するなど、地域団体等の参画と協働による地域づくりを推進し、青少年の感性（想像力、表現力等）を育むとともに、住民のふるさと意識の醸成や居場所・交流の場づくりなどを進め、みんなで支え合う地域づくりにつなげました。

(1) 地域文化事業の実施（嬉野台、但馬、西播磨、淡路）

従来から取り組んできた各地域の伝統芸能、音楽、文芸、美術、スポーツ等地域文化の振興を図る発表会、コンサート、公募展、イベント開催等について、引き続き地域の関係団体、住民の参画と協働により事業を継続しました。

[地域文化活動の振興]

事業名	事業概要	実績	
① 嬉野台生涯教育センター	ア うれしの春のフェスティバル	施設開放を行い、芸術、文化、スポーツ、地域活動団体の交流などを通じて、家族間、世代間、地域間の交流の促進を図るとともに、利用者の拡大を図りました。 対象者：県民	実施日：令和5年5月4日(木) 参加者数：約2,700人
	イ うれしのまるごとギャラリー	年間を通じて絵画、写真、書、木彫、陶芸等を展示することで作品発表と鑑賞の場を提供しました。 対象者：県民	・常設展示[歴史コーナー] 「センターの変遷」 「加古川舟運」(レゾナ) ・特設展示 計149点 ※Ⅰ期70点、Ⅱ期79点
	ウ 東はりま大茶会	茶道文化の交流事業を実施し、伝統文化の保存・継承を図るとともに、地域文化の振興と普及拡大を図る。 対象者：団体を構成する会員及び県民	実施日：令和5年10月29日(日) 参加者数：430人
	エ 東はりま芸能祭	芸術活動を進める団体に発表の場と交流の機会を提供し、団体の育成を図るとともに、広く県民に鑑賞の場を設けることで伝統芸能の啓発普及を図りました。 対象者：団体を構成する会員及び県民	実施日：令和6年1月21日(日) 参加者数：約800人
	オ 東はりまコーラス大会	合唱団体による発表と交流の場を提供し、音楽団体の育成を図るとともに、個性ある文化活動の向上を図る。 対象者：団体を構成する会員及び県民	実施日：令和5年11月5日(日) 参加者数：490人
	カ 文芸誌「東はりま文化子午線」の発行	東播磨・北播磨地域の県民を対象に公募した短歌・俳句・川柳・詩・随筆等の作品を中心とした文芸誌の発行を通して、文化活動の裾野の拡大と地域文化の活性化を図る。 対象者：団体を構成する会員及び県民	発行日：令和6年3月31日(日) 発行部数：1,500部



① 嬉野台生涯教育 センター	キ 東播磨の地域文化を考える会	東播磨・北播磨地域各市町文化協会・団体の会員等が一堂に会し、地域における文化振興の現状や課題、地域の特色を生かした事業の推進方策等について情報交換や協議を行う。 対象者：団体を構成する会員及び県民	実施日：令和6年3月9日(土) 参加者数：250人
② 但馬文教府	ア 但馬美術展	日本画・油彩画・水彩画・版画・ミクストメディアの5部門からなる公募展を実施、鑑賞の場を提供することにより美術の発展を図りました。 対象者：但馬在住、又は但馬で活動している高校生以上	実施期間：令和5年8月1日(火)～8月7日(月) 出品数：89点 来場者数：約1,100人
	イ ふるさとの心をうたう但馬合唱祭	但馬各地の合唱団体が一堂に会し、日頃の練習成果の発表と交流により、ふるさと但馬の文化振興を図りました。 対象者：但馬連盟に加盟する団体	開催日：令和5年11月23日(木) 場所：香住区中央公民館 参加者数：34団体
	ウ 但馬歴史講演会	但馬史へ理解を深め郷土愛を育むため、但馬の歴史や遺跡等についての講演会を実施しました。 対象者：県民	開催日：令和5年8月18日(金) 場所：但馬文教府 参加者数：約200人
	エ 但馬文学のつどい「たじま作品集」の発行	短歌、俳句、冠句、川柳の合同作品展と研さん交流の会を開催するとともに、但馬在住者及び但馬のグループに所属する人を対象に短歌・俳句・冠句・川柳、詩を募集し、短詩型文学『たじま作品集』として発行しました。 対象者：一般・だれでも 児童生徒・但馬地域の小・中・高・特別支援学校	<但馬文学のつどい> 開催日：令和5年11月25日(土) 応募数：一般306点、 児童生徒1,694点 参加者数：118人 <『たじま作品集』の発行> 募集期間：令和5年10月25日(水)～12月25日(月) 応募者数：166名 発行：令和6年3月、400冊
	オ 但馬ふるさと芸術文化祭	但馬で芸術・芸能活動に取り組む個人や団体、学校などが日頃の成果を発表し、ふるさと但馬の芸術・文化のさらなる振興を目指しました。 対象者：県民	実施日：令和5年9月28日(木)～10月1日(日) 実施場所：但馬文教府 参加者数：500人
③ 西播磨文化会館	ア 播州段文音頭大会	地域に唄い継がれてきた播州段文音頭の保存会を支援するため、交流の機会を提供することで、活動の活性化とともに、地域文化の振興を図りました。 また、大会の様子を紹介するサイトから配信しました。 対象者：西播磨文化協会連絡協議会加盟の播州段文音頭保存会等、県民	実施日：令和5年8月26日(土) 実施場所：西播磨文化会館 参加者数：159名

③ 西播磨文化会館	イ 播州段文音頭教室	播州段文音頭の担い手を養成するため、各市町文化協会や保存会と連携し、音頭及び太鼓を学ぶ機会を設けました。 対象者：県民	実施日 原則第3火曜日 (5月から3月) 参加人数 各回20名程度
	ウ ふるさとの心をうたう西播磨音楽祭	中播磨・西播磨各地で活動している合唱団等の音楽活動団体に発表と交流の場を提供し、それら団体の育成を図るとともに、中播磨・西播磨の特色ある芸術文化活動の向上を図りました。 対象者：中播磨・西播磨地域の合唱グループ	実施日：令和5年12月3日(日) 実施場所：姫路市北部市民センター 参加者数：253名・14団体
	エ 西播磨ふるさと写真展	作品を通し、明日の中・西播磨を考える機会を提供するとともに、作品の鑑賞を通して、互いの技量の向上や交流の輪の拡大を目指し、地域文化の活性化を図りました。 テーマ：中・西播磨の自然と文化 対象者：県民  〈巡回展〉 上記の写真展を中播磨・西播磨管内各市町で巡回展示する巡回展を開催し、広くふるさと意識の醸成を図りました。	〈写真展〉 期間：令和5年9月2日(土)～8日(金) 実施場所：西播磨文化会館 入場者数：392名  〈巡回展〉 期間：令和5年10月5日(木)～10月25日(水) 場所：光都プラザ「オプトピア」 入場者数：798名  期間：令和5年11月10日(金)～11月29日(水) 場所：ぎやらりー&喫茶やまだ 入場者数：80名  期間：令和5年12月11日(月)～21日(木) 場所：宍粟市役所1Fロビー 入場者数：360名  期間：令和6年1月12日(金)～23日(火) 場所：赤穂市民会館1Fロビー 入場者数：132名  期間：令和6年1月26日(金)～2月6日(火) 場所：上郡町生涯学習支援センター 入場者数：632名  期間：令和6年2月14日(水)～27日(火) 場所：姫路市立香寺公民館 入場者数：716名

③西播磨文化会館	オ 西播磨短歌祭	<p>中播磨・西播磨地域の短歌愛好者の作品を公募し、入選者を表彰するとともに、講師を囲んで作品の鑑賞を行う中で、互いの交流と創作意欲の高揚を図りました。</p> <p>対象者：中・西播磨地域在住または在勤(学)の方 中・西播磨地域の歌会に所属する方</p>	<p>開催日：令和5年10月28日(土) 場 所：西播磨文化会館 応募数：1,503首(1,433人)</p>	
	カ 西播磨俳句祭	<p>中播磨・西播磨地域の俳句の愛好者の作品を公募し、入選者を表彰するとともに、講師を囲んで作品の鑑賞を行う中で、互いの交流と創作意欲の高揚を図りました。</p> <p>対象者：中・西播磨地域在住または在勤(学)の方 中・西播磨地域の句会に所属する方</p>	<p>開催日：令和5年10月21日(土) 場 所：西播磨文化会館 応募数：2,299句(1,773人)</p>	
	キ ふるさと意識醸成プロジェクト	(ア)西播磨ふるさと文化祭	<p>子どもから高齢者まで、多様な世代がふるさと意識を共有しつつ、みんなで創り上げる芸術文化祭を開催。生活創造グループ、地域団体、高齢者大学生、地元高校生等が参加して展示・ステージ発表等を行う等、大規模イベントを開催しました。</p> <p>・対象者：一般</p>	<p>開催日：令和5年11月26日(日) 場 所：西播磨文化会館 参加者数：800名</p>
		(イ)播磨「歴史・地域学」講座	<p>中・西播磨地域の歴史・文化・くらしなどの学習を通じて、ふるさとへの愛着・地域活性化への機運の醸成・ふるさと創生づくりに資する講座を開催しました。また、地域の歴史・文化関連図書コーナーを設け、来館者の閲覧に供しました。</p> <p>・対象者：一般</p>	<p>開催日：①令和5年9月6日(水) ②令和5年10月4日(水) ③令和5年10月25日(水) ④令和5年11月22日(水) 場 所：西播磨文化会館 参加者数：延べ701名</p>
		(ウ)ゆうゆうチャンネル(生涯学習オンライン講座)の配信	<p>地域づくり活動や伝承文化活動、芸術文化活動で活躍する人々、団体の動画を「ゆうゆうチャンネル」として、西播磨文化会館のホームページ内で配信しました。</p> <p>・対象者：一般</p>	<p>場 所：西播磨文化会館(ネット配信) 配信講座数：30講座</p>
		(エ)県立龍野北高等学校との連携【再掲】		

③ 西播磨文化会館	ク 令和5年度 兵庫県地域 文化を考える シンポジ ウム	地域における文化振興の現状や課題、地域の特色を生かした事業の推進方策等について情報交換や協議を行いました。 対象者：県内各市町文化協会・団体の会員等	開催日：令和5年11月16日(木) 場 所：赤穂市文化会館 参加者数：280人
④ 淡路文化会館	ア 淡路人形浄 瑠璃後継者 交流発表会	淡路人形浄瑠璃に影響を受けた全国の人形浄瑠璃後継者団体等と連携し、後継者の交流と発表の機会をつくとともに、各団体のネットワーク化と全国への情報発信を推進しました。	交流会・発表会 実施日：令和5年7月23日(日) 発表会：南あわじ市湊地区公民館 参加団体：淡路三原高等学校、三原中学校、南淡中学校、福井子供会、淡路人形芸舞組、淡路人形浄瑠璃青年研究会、那賀高校、川内中学校、和知中学校
	イ 淡路島ココ だけの文化 祭	淡路地域で保存・継承されている伝統芸能や民俗芸能、淡路島をテーマとした創作芸能や様々な音楽等に取り組む団体のパフォーマンスをステージで発表し、その記録映像を淡路文化会館のホームページ上で配信し、地域文化の振興を図りました。	実施日：令和5年12月17日(日) 場 所：淡路市立しづかホール 参加者数：450名(出演者含む)
	ウ 淡路日本画 セミナー	日本画の創作技術の習得と鑑賞眼を養うとともに、芸術に親しむ心を培う機会を提供しました。 初級、中級の2コースに分けて開催 年間10回 定員：初級35名、中級25名 対象者：県民	実施回数：9回 参加者：初級 延べ89名 中級 延べ67名
	エ 淡路洋画 セミナー	洋画の創作技術の習得と鑑賞眼を養うとともに、芸術に親しむ心を培う機会を提供しました。 年間10回 定員：50名 対象者：県民	実施回数：10回 参加者：延べ 246名
	オ 第42回全 淡短歌祭	短歌作品を募集し、優秀作品を表彰することで、淡路地域の短歌愛好家の交流と創作意欲の高揚を図りました。 対象者：県民	開催日：令和5年9月30日(土) 場 所：洲本市立洲本図書館
	カ 第47回淡路 島俳句大会	俳句作品を募集し、優秀作品を表彰することで、淡路地域の俳句愛好家の交流と創作意欲の高揚を図りました。 対象者：県民	開催日：令和5年11月12日(日) 場 所：洲本市立淡路文化史料館
	キ 第45回淡路 文学作品展	作者自ら書写した短歌・俳句・雑俳を展示することで、淡路における短詩型文学の振興を図りました。 対象者：県民	開催日：令和5年11月29日(水) ～12月7日(木) 場 所：洲本市立淡路文化史料館

④ 淡路文化会館	り 淡路ふるさと文化交 流事業	淡路島内の各文化団体が、現状や課題につ いて情報交換を行い、活動の活性化と地域 文化の振興を図りました。 対象者：団体を構成する会員	開催日：令和5年9月23日(土) 場 所：洲本市立淡路文化史料 館、三熊山
----------	--------------------	---	---

## (2) 文化会館等の特性を活かした利用促進

地域の特色ある文化活動の拠点として市域を越えた地域文化団体の事務局を担うなど、伝統文化の伝承活動、住民のふるさと意識の醸成、広域交流のたまり場としての役割などを担っており、日常的、継続的な賑わいを創出するため、地域の文化団体、地域団体、生活創造活動グループ、高齢者大学学生・卒業生等と連携し、利用促進を図りました。

### ①地域文化活動の支援

支援団体等	支援内容	実 績
① 嬉野台生涯教育センター	<p>7 東播磨文化団体連合会への支援</p> <p>東播磨・北播磨地域内の各種文化団体の連携と研修を深め、地域の芸術文化の高揚を図ることを目的として設立された東播磨文化団体連合会が実施する各種事業や活動等を支援</p> <p>〈支援内容〉 地域文化団体との連携調整をはじめ、「東播磨の地域文化を考える会」の開催や文芸誌「東はりま文化子午線」の発行など</p>	<p>〈役員会・理事会・定期総会〉 開催日：令和5年5月27日(土) 場所：嬉野台生涯教育センター</p> <p>〈各事業〉 開催時期：令和5年10月～令和6年3月</p> <p>〈大茶会〉 場所：小野市 〈コーラス大会〉 場所：高砂市 〈芸能祭〉 場所：明石市 〈郷文化を考える会〉 場所：嬉野台生涯教育センター</p> <p>〈「東はりま文化子午線」の刊行〉 令和6年3月発行 発行部数：1,500部</p>
② 但馬文教府	<p>7 但馬文化協会への支援</p> <p>但馬地域住民の文化に対する関心を高め、郷土文化の振興を目的として設立された但馬文化協会が実施する各種事業や活動等を支援</p> <p>〈支援内容〉 地域文化団体との連絡調整をはじめ、但馬文化協会機関紙「KOHNOTORI」発行、ふるさと芸術文化振興事業等</p>	<p>〈理事会開催〉 実施回数：2回</p> <p>〈但馬文化協会創立50周年式典〉 実行委員会：3回 開催日：令和5年11月19日(日)</p>
	<p>4 但馬芸術文化会議への支援</p> <p>但馬地域住民の芸術・文化活動の振興を目的として設立された但馬芸術文化会議が取り組む各種事業や活動等を支援</p> <p>〈支援内容〉 地域文化団体との連絡調整をはじめ、「但馬ふるさと芸術文化祭」開催運営支援、但馬文化賞・青少年文化奨励賞の実施、機関紙「芸文たじま」の発刊など</p>	<p>〈総会、表彰式開催〉 開催日：令和5年5月20日(土)</p> <p>但馬文化賞：城崎麦わら教室 但馬青少年文化奨励賞：八鹿高校音楽部、豊岡総合高校美術部</p> <p>〈講師派遣事業〉 実施回数：8回</p>

② 但馬文教府	り 但馬美術協会への支援	但馬地域の美術（絵画）振興を図り、郷土文化の向上に寄与することを目的として設立された但馬美術協会の事業、活動等を支援 〈支援内容〉 地域文化団体との連絡調整をはじめ、但馬美術展の開催、但馬美術協会報の発行など	〈但馬美術展〉 ・但馬美術展の開催にむけた募集と広報活動 開催期間：令和5年8月1日（火）～8月7日（月） ・但馬美術展における但馬文教府長賞の授与
③ 西播磨文化会館	7 西播磨文化協会連絡協議会への支援	中播磨・西播磨地域住民の文化に対する関心を高め、郷土文化の振興を目的として設立された西播磨文化協会連絡協議会が取り組む各種事業や活動等を支援 〈支援内容〉 地域文化団体との連絡調整をはじめ、子どもも大人も楽しめる「文化体験教室」、西播磨地域ふれあい文化交流会、新年文化交流会の開催、機関誌「西播磨文化」の発行など	〈西播磨地域ふれあい文化交流会・研修会〉 開催日：令和5年10月18日（水） 場 所：太子町立文化会館 内 容：・講演「太子町の聖徳太子への信仰」 講師：田村三千夫 ・アトラクション、活動紹介 ・史跡見学 斑鳩寺、宝物殿  〈新年文化交流会〉 開催日：令和6年1月10日（水） 場 所：西播磨文化会館 参加者数：84名  〈機関誌「西播磨文化」の発行〉 発 行 日：令和6年3月1日 発行部数：1,000部
④ 淡路文化会館	7 淡路文化団体連絡協議会への支援	淡路地域住民の文化に対する関心を高め、郷土文化の振興を目的として設立された淡路文化団体連絡協議会が実施する各種事業や活動等を支援 〈支援内容〉 地域文化団体との連絡調整をはじめ、ふるさと文化交流事業の開催や機関誌「あわじ」の発行等	〈第42回全淡短歌祭〉 開催日：令和5年9月30日（土） 場 所：洲本市立洲本図書館 参加者数：51名 〈第47回淡路島俳句大会〉 開催日：令和5年11月12日（日） 場 所：洲本市立淡路文化史料館 参加者数：45名 〈第45回淡路文学作品展〉 開催日：令和5年11月29日（水）～12月7日（木） 参加者数：98名 場 所：洲本市立淡路文化史料館  〈文化情報誌「あわじ」〉 発行日：令和6年3月15日発行 発行部数：1,100部

## 6 文化・芸術活動の拠点としての機能強化

### (1) 但馬文教府創立60周年記念事業の実施【新規】

但馬地域における教育、文化・芸術の振興拠点として昭和38年に開設された但馬文教府の創立60周年記念式典を開催しました。

開催日：令和5年11月29日（水）

## 7 経営の健全性・透明性の確保

令和5年度においては、いなみ野学園入学募集活動の推進、ラジオカレッジの入学要件緩和及び生きがい創造協会寄附の募集を推進するとともに、陶芸の村利用料の値上げと事業見直しを実施しました。

### (1) 安定した収入の確保

#### ① 高齢者大学入学者の確保

応募者数が減少傾向にあることから、魅力的なカリキュラムの設定など、高齢者大学の魅力向上を図り、入学者定員の確保に努めました。

特に、いなみ野学園の運営について、「いなみ野学園運営懇話会」を引き続き開催し、より安心・安全な学習環境の確保とともに、ICTの活用も図りながら講座内容の一層の充実に取り組みました。

また、入学者募集の際に効果的な口コミによる周知を図るため、学生・卒業生等への高齢者大学に関する定期的な情報提供を行うほか、いなみ野学園オープン講座の開催や、ホームページ・マスメディアの活用、近隣公民館や企業への案内依頼など、効果的なPR、認知度の向上に努めました。

#### ② 適正な受益者負担の徴収

・協会事業に係る経費について、適正な受益者負担を求めました。

#### ③ 寄付募集の推進

生きがい創造協会の各事業に充当する寄附の募集を行いました。

実績：兵庫県生きがい創造協会寄附

(単位:円)

使途		寄付者数	寄附額
1	地域・世代間交流事業	0	0
2	いなみ野学園	66	284,287
3	ひょうごラジオカレッジ	4	27,000
4	阪神シニアカレッジ	2	81,200
5	嬉野台生涯教育センター／うれしの学園生涯大学	0	0
6	但馬文教府／みてやま学園	0	0
7	西播磨文化会館／ゆうゆう学園	1	10,000
8	淡路文化会館／いざなぎ学園	0	0
9	協会が実施する事業	5	145,000
計		78	547,487

#### ④ オープンキャンパスの開催（いなみ野、阪神、嬉野台、但馬、西播磨）

講座やクラブ見学等を入学希望者や地域住民に幅広く開放し、高齢者大学での学びや活動への理解を深めてもらう機会としました。

### いなみ野学園

開催日	令和5年11月28日、12月1日、12月13日
対象者	入学希望者
参加者数	62名
場所	地域活動支援センター 外
内容	学園概要、講座見学、学園内見学、クラブ活動見学会

### 阪神シニアカレッジ

(オープンキャンパス)【再掲】

開催日	令和5年8月2日
対象者	一般
参加者数	190名
場所	阪神シニアカレッジ401教室 ほか
内容	公開講座「学長文学歴史サロン」阪神シニアカレッジ学長 田辺真人 屋上農園見学、クラブ活動見学

(オープンキャンパス)【再掲】

開催日	令和5年12月22日
対象者	一般
参加者数	100名
場所	阪神シニアカレッジ401教室 ほか
内容	「クリスマスふれあいコンサート」 NPO法人関西芸術文化支援の森ゆずりは 若手演奏家4名、屋上農園見学、クラブ活動見学

### 嬉野台

開催日	令和5年11月7,8,21日、12月5日、令和6年1月9日、2月6日
対象者	うれしの学園生涯大学入学希望者
参加者数	17名
場所	嬉野台生涯教育センター
内容	学園祭(舞台発表、記念講演、芸能イベント)、専門講座、実践発表会、クラブ活動など

### 但馬

開催日	令和6年1月12日、26日、2月2日
対象者	一般県民及びみてやま学園入学希望者
参加者数	233名
場所	但馬文教府
内容	専門講座、教養講座、クラブ活動、学習発表会



西播磨【再掲】

開催日	令和6年1月19日
対象者	一般県民、高齢者大学学生
参加者数	高齢者大学学生 113名 一般7名 計120名
場所	西播磨文化会館
内容	演題：高齢者の消費者被害防止のために 講師：ひめじ市民法律事務所 弁護士 平田元秀

西播磨【再掲】

開催日	令和6年2月2日
対象者	一般県民、高齢者大学学生
参加者数	高高齢者大学学生 109名 一般17名 計126名
場所	西播磨文化会館
内容	演題：勝負師の先の読み方・考え方 講師：日本将棋連盟 プロ棋士7段 神吉宏充

⑤ 自主事業の収益の確保

ア 高齢者手づくりの店（協会本部）

高齢者が、趣味、創作活動として製作した手工芸品や民芸品、育成した野菜・花などを販売する場として、民間事業者に委託して運営しました。

- ・ 出品物 野菜、花き、果物、苗、菓子、手芸品など
- ・ 施設の概要 木造平屋建寄棟造 117.9 m<sup>2</sup>

イ 高齢者園芸センター（協会本部）

高齢者が土と親しみ作物を育てることを通じて健康を増進するとともに、地域や世代間の心のふれあいと交流を図る場として運営しました。

(7) 指導者付貸農園（ファミリーファーム）の運営

- ・ 区画数 448区画(16.5 m<sup>2</sup> ; 395区画、30 m<sup>2</sup> ; 14区画、32 m<sup>2</sup> ; 39区画)
- ・ 利用料 16.5 m<sup>2</sup> 7,200円/年  
30 m<sup>2</sup>及び32 m<sup>2</sup> 18,000円/年

ファミリーファーム総区画数		利用区画数
①16.5 m <sup>2</sup> /区画	395区画	227区画
②30.0 m <sup>2</sup> /区画	14区画	9区画
③32.0 m <sup>2</sup> /区画	39区画	36区画

(1) 施設の概要

- ・ ファミリーファーム 11,620 m<sup>2</sup>      ・ 農園 4,415 m<sup>2</sup>
- ・ 果樹園 6,330 m<sup>2</sup>      ・ 管理棟 176 m<sup>2</sup>

## ウ 高齢者陶芸の村（協会本部）

高齢者が作陶活動を通じて、仲間と共に生きがいを創造する場として、会員の自主運営により実施しました。

### (7) 会員の入村・利用料等

- ・会 員 60歳以上の者 ・会員数 110人（令和6年3月末現在）
- ・入村料 12,000円 ・利用料 月額5,000円（3月分前納）
- ・材料費・焼成費 内容に応じて設定
- ・作陶日：週2回（月・火と木・金の2班）  
指導員が作陶焼成等の指導にあたります。

### (4) 地域への開放

地域の人々に施設を開放し、広く陶芸の普及と世代間交流を図りました。

- ・利用料 一人1日1,000円 ・利用者 延べ1,587人（令和6年3月末現在）
- ・材料費・焼成費 内容に応じて設定
- ・指導員が作陶焼成等の指導にあたります。
- ・作陶日：毎週水曜日

### (7) 施設の概要

- ・敷地 2,820㎡、建物 720.78㎡
- ・作業棟3棟451.11㎡、窯棟3棟120.43㎡、乾燥棟72㎡、その他78.24㎡

### (E) 利用料の値上げ

- ・令和5年4月分から上記（イ）の利用料を300円値上げし、1,000円としました。

## (2) 施設の改修による利便性等の向上

各施設の状況、所要経費等を勘案し、利用者の利便性・快適性を確保して利用者増を図るための施設改修を計画的に進めました。

## (3) 職員の適正配置等による運営

長期的視点で事業を計画的、継続的に執行することができるよう職員の適正配置等による運営を行うとともに、高齢者大学のクラス運営等のルーティン業務を運営サポート一等による自立的運営に移行するなど、高齢者が高齢者を支援する体制で運営を行いました。

## (4) 協会事業の透明性確保・広報の充実

### ① 協会事業の見える化

ア 協会ホームページで、組織・収支状況・経営方針・事業内容・イベント情報などを定期的に発信しました。

イ ニュースレター「生きがい通信」（協会本部）

高齢者の生きがいと健康づくりに関する情報などをニュースレターとしてホー

ムページに掲載することにより、地域社会への貢献についての県民の意識啓発を図るとともに協会事業の内容を積極的に発信しました。

・発信回数 年3回（令和5年8月、令和6年1月、3月）

## ② マスメディアとの連携

ラジオや新聞等のマスメディアの協力を得ながら、当協会及び協会事業の知名度向上を図りました。

### ア 記者発表等マスメディアの積極的活用の推進

本庁及び県民局の定例記者会見や月間広報計画などの広報媒体を活用し、各高齢者大学の入学生募集をはじめ各種事業のPR活動を積極的に推進しました。

・高齢者大学入学募集、放送大学学生募集、オープンキャンパス、短期集中講座、しごと活躍講座、聴講講座、兵庫県公民館大会など

## ③ いなみ野学園情報番組の制作・発信（いなみ野）

地域ケーブルテレビ局「BAN-BAN テレビ」の協力を得て、大学院講座学生等の自主制作による動画を放映している番組「播磨まちかどニュース with いなみ野学園」への応援を行うとともに、動画の内容や学園行事等のニュースを紙面で紹介する「瓦版」を発行し、学園の活動や魅力について情報発信に努めました。

・動画放送番組数：年24本（月2回）

・瓦版発行回数：年12回（月1回）

## ④ ホームページの運営（全施設）

可能な限りの情報公開を目指すとともに、わかりやすく、親しみやすい、身近に感じてもらえる施設像の情報発信に努めました。

## (5) 経営改善の推進

経営改善を推進するため、経営改善推進本部を設置し、事務経費の節減や収入確保対策に取り組みました。

### [取組み事例]

- ・いなみ野学園入学募集活動の推進
- ・ラジオカレッジの入学要件緩和
- ・陶芸の村利用料の値上げ
- ・生きがい創造協会寄附の募集推進

## 8 ウイズコロナ期に向けた適切な対応

新型コロナウイルス感染症については、令和5年5月8日から感染症法上の扱いが5類に移行されましたが、引き続き感染状況に注視しながら、可能な限り制約のない学園運営に努めました。

